授業科目	＊初年次セミナー					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	藤田　稔子						
授業概要	短大生として期待される基本的な学習スキルを身につけることを目標に授業を展開します。聞く、調べる、読む、書く、考える、発表する、討論する、チームビルディング、課題探求の方法等をワークを通して学べるように授業を組み立てています。 特に後半では、1つの課題に対してグループで研究的プロセスに則ったフィールドワークに付随する調査・報告・プレゼンテーション等を実践します。						
授業形態	演習			授業方法	PBL グループワーク プレゼンテーション フィールドワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．グループの一員として、役割を持ち動くことができる 2．与えられた資料を読み込み、まとめることができる 3．プレゼンテーションに関わることができ、他の発表を聞くことができる 4．他者の姿も参考にしながら自らのことを振り返ることができる
理想的レベル	1．グループワークを主体的にリードし、チームビルディングを通して、自己および他者を理解し協働できる 2．自ら考え、必要な情報収集ができ整理することができる 3．プレゼンテーションができ、質疑応答等への積極的な参加ができる 4．的確な振り返りができる

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	第14回目に作成するレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	第 13 回目のプレゼンテーションと質疑応答
レポート外の提出物	30%	各回のコメントシート、フィールドワークの記録
その他		

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH10201J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
（予習）シラバスで次回の内容を確認したうえで、必要な事前準備をしてきてください （復習）各回で課題を指示します	1

授業計画

第1回	ガイダンス

＊初年次セミナー

	本科目の概要と授業進行の説明をします。また、各自の短大での学びの目標と見通しを立てます。
第 2 回	グループワークを体験する　その１ 共に学びあう仲間との関係性を様々なワークで深めていきます。
第 3 回	グループワークを体験する　その２ 自分達で考えた活動を皆で体験し、仲間との関係性を深めていきます。
第 4 回	課題に取り組む方法を知る 課題を解決するための方法論について解説します。その後、テーマを提示します。そのテーマに対して、グループで意見を出し合い、次回の授業までに調べてくることを分担します。
第 5 回	グループで課題を深める 事前に調べたことをグループ内でシェアします。その後、クラス全体で意見交換をし、テーマを多角的に捉えていきます。
第 6 回	各グループの課題解決方法を見出す グループでテーマに対しての知識を整理し、解説するための方法を導き出します。また、次週におこなうフィールドワークで調査する内容をグループ内で共有します。
第 7 回	フィールドワーク 実際に学外に出向き、フィールドワークを行います。
第 8 回	フィールドワーク 実際に学外に出向き、フィールドワークを行います。
第 9 回	フィールドワーク 実際に学外に出向き、フィールドワークを行います。
第 10 回	フィールドワークの考察、問題解決への整理 フィールドワークで得たデータをまとめ、問題解決方法を考えます。
第 11 回	発表スライド等の準備 他者にわかりやすい、説得力のある発表になるよう準備をすすめます。
第 12 回	発表の準備 発表に用いるスライドや配布資料、発表原稿の準備を進めます。
第 13 回	プレゼンテーション 他者にわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションを指定された時間でおこないます。また、発表に対しては、活発な意見交換を求めます。

＊初年次セミナー

第 14 回	レポートに取り組む プレゼンテーションを通して、更にブラッシュアップさせて、レポートを書式に則って作成します。
第 15 回	まとめ 本科目での学びを分かち合います。
テキスト	必要に応じて資料等を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その都度、参考になると思われる資料やデータベースを紹介し、ワークの手助けになるようにします。
課題に対するフィードバックの方法	その都度、助言をしたり、必要な資料を共に検索したりしますので、問題点を先送りにはしません。 提出を求める課題がある場合は、コメントを付けて返却します。 また、各回のコメントシートに質問等があれば、回答して次回の授業で返却します。
学生へのメッセージ・コメント	何事にも好奇心を持って、調べる癖をつけてください。この科目は、少しの関心、疑問、等がワークを円滑に進め、グループダイナミックスに影響を与えます。何も準備をせずワークに臨むことが推奨しません。

＊初年次セミナー